東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2008年11月7日

人生は一つの試練である

親愛なるムスリムの皆様。

アッラーは、人間をこの地上で試みのために創造されました。この真実はクルアーンで次のように述べられています。「かれは）死と生を創られた方である。それは、あなたがたの中誰の行いが優れているのかを試みられるためで、かれは偉力ならびなく寛容であられる。」（大権章第２節）

人の創造の唯一の意図は、崇高なるアッラーを知ること、そしてそのしもべとなることです。アッラーは次のように仰せられます。「ジンと人間を創ったのはわれに仕えさせるため。」（撒き散らすもの章第５６節）選ばれた存在として創造された人間は、預言者たちや啓典によって警告を受け、ご自身のよいしもべとなるための道を示されておられるのです。

親愛なるムスリムの皆様。

現世の生は欺瞞に過ぎずはかないものです。アッラーは次のように警告されておられます。「現世の生活は、遊びか戯れに過ぎない。だが主を畏れる者には、来世の住まいこそ最も優れている。あなたがたは悟らないのか。」（家畜章第３２節）「人びとよ、アッラーの約束は真実である。だから、現世の生活に欺かれてはならない。またアッラーに関し、騙し上手に欺かれてはならない。」（創造章第５節）

ムスリムはこの警告に留意し、現世に心を奪われることのないよう、現世と来世の間の均衡を保つ必要があります。どこから来て何故存在しているのか、どこに行くのかといった問いを常に自分に問いかけるべきです。そしてその答えは、アッラーから来て、試練のためにここにいて、再びアッラーに戻る、という形であるべきなのです。

人はこのはかない現世を、我欲の尽きることのない欲望を　追い、シャイターンに追従して過ごすなら、来世で悲しむことになるでしょう。この一時的な生において私たちは皆、様々な形で試練を受けています。一部の人々の人生は健康のうちに過ぎますが、また一部の人の人生は貧困、災い、災難のうちに過ぎます。こういった私たちに起こること全てがアッラーの定められたものであることを信じ、災難、苦難に対して反発することなく忍耐し、与えられた恵みに対しては思い上がったり恩知らずであったりせず常に感謝していることが、真の意味でアッラーのしもべとなることなのです。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。　現世における生は試練によって成り立つものです。この大きな試練は、アッラーの命令に従い、禁じられたことを避けることによってのみ合格することができるということを考え、生き方をそれにふさわしい形で整えましょう。現世の魅力に惑わされて来世を忘れてはいけないのです。この世界で味わう喜びや苦しみが一時的なものであることを認識しましょう。アッラーの次の警告を常に頭においておきましょう。「人はすべて死を味わう。われは試練のために、凶事と吉事であなたがたを試みる。そして（最後は）われに帰されるのである。」（預言者章３５節）

今日のフトバを預言者ムハンマドの次のような言葉によって締めくくりたいと思います。「信者の状態は羨望や感動に値する。なぜなら彼の全てのありようが善行の要因となるからである。このような特徴は信者にのみ存在する。自分を喜ばせる何かがあれば感謝し、それは彼にとって善となる。災いが起これば忍耐し、それもまた彼にとってよいものとなる。」